



12月2日3日は両店にて

今年最後のパナソニックフェアを開催いたします♪

今年最後のお店での売り出しに、たくさんお客様に来て頂きたくて、お店の近辺のお客様に一軒一軒招待状を手配りしていると、偶然にも普段なかなかお会いすることが出来ないお客様に会えたり、「頑張りやー！いつも新聞楽しみに読ませてもらってるでー」と優しいお声をかけて頂き、寒い中での招待状配りも、楽しい時間となりました。その中でも一番嬉しかったことが、鳥飼上1丁目のI様にお会いすることができて心配事が解決したことでした。I様は以前はよくお会いすることができ、お仕事もよく頂いていたのですか、2年程前からパタリとお会いすることが出来なくなり、お家に訪ねて行ってもお留守がちで何度かエアコン点検のお伺いのお手紙も郵便受けに入れさせて頂いたのですが、なかなか連絡もなく、あまりにもタイミングが合わないのでは何か失礼な事をし

てしまったのではないかなあ？と心配していました。

それが今回招待状を持って訪問した時にお話しすることができました。I様のご家族の体調が悪く、病院通いなどで本当にお忙しくされていたそうで、そのことを聞かせて頂いて今までとても気になっていたのでホッとしました。

そのうえI様は、連絡が出来ない事を気に留めてくださっていて、今度会った時にはこのお仕事を頼もうと色々と考えて下さっていてたくさんのお仕事を下さいました☆ありがとうございます！そして、念願だったエアコン点検もさせて頂くことになりました!!

I様お忙しい中たくさんお話し頂き、お気遣い頂きまして本当にありがとうございました。これからもう宜しくお願いします☆

摂津店 岡本千華

パナソニックフェア今回の来場記念品は…

パナソニックは来年3月に創業100周年を迎えます♪それを記念して特別に作られたブランケットをご用意しました◎是非おこしく下さいね♪



お待ちしております
おられます♪



『台風被害の改修編』

テント取替え（骨組みごとの交換です）



以前このビフォア・アフターのコーナーで紹介させて頂いたことがありますので、覚えておられる方もいらっしゃると思います。高槻の富田町にあるお好み焼き店「味好」さまのテント改修です。

【お困りごと】

10月、毎週のようにやってきた台風の被害により、テントの骨組みの接続部が折れてしまい、風に煽られてテントごと落下しそうな状態でした。

【ご提案】

前回の改修時ではテント生地 の貼替のみで、骨組みは以前 のままご使用いただいております。

ました。が、茨木高槻周辺で 猛威をふるった台風の強風に 耐えきれずに破損してしま いました。

台風の翌日にご相談頂いてか ら取替工事までに落下しない ように応急手当てをし、その 間に骨組みになるフレームと テント生地を製作し取替完了 いたしました。

※お店や会社さまのテントの 貼り替えや倉庫など開口部分 の大きな入り口のビニール カーテンの製作もご依頼いた だくこともあります。

『こんなごときでございませぬ。』とお気 軽にご相談くださいいな。

テラス取替え工事



高槻市のM様邸のベランダテラスの改修です。

こちらにも同じく台風の影響により、木製テラスと波板屋根が吹き飛ばされました。

お伺いした際には、落下した屋根が壁に斜めにもたれかかった状態だったので、安全な位置に移動し後日撤去させて頂き、新たに設置するテラスは、腐食に強いアルミ製のテラスに取替えさせて頂きました。

屋根瓦改修工事



茨木市のS様邸の屋根瓦の一部が落下し、改修させて頂きました。

幸い、飛んだ瓦が他に被害を与えることがありませんでしたので、瓦の部分的な改修だけで済みました。

今回の台風は北摂エリアに大きな被害をもたらしました。特に茨木高槻の山手にお住まいの皆様は一度おうちの屋根をぐるっと確認してみてくださいいな。



2016年公開。百田尚樹のベストセラー小説『永遠の0』の時から同じく監督・脚本が山崎貴、主演・岡田准一のタッグで映画化されました。主人公の国岡鐵造のモデルになったのは出光興産の創業者・出光佐三氏です。当作品では鐵造の20代の時から90代までが描かれています。全年代を岡田准一がひとりで演じています。

1945年、戦後の混乱期。石油会社・国岡商店にも危機が迫っていました。しかし店主・国岡鐵造（岡田准一）は店員（川部下）たちを家族と呼び、一人も解雇はしないと宣言します。そんな鐵造の前には様々な障壁が立ちますが、自分と仲間を信じ、独自の方法で乗り切っていきます。

業の大恩人・木田章太郎（近藤正臣）はベテランらしい安定感、「ALWAYS 三丁目の夕日」など山崎貴作品常連・店員／東雲（吉岡秀隆）、店員／長谷部（染谷将太）、日承丸の船長／盛田（堤真一）などは監督が安心して彼らに任せている感じが伝わってきます。通訳／武知（鈴木亮平）はピッタリのキャストイングですが、もう少し活躍する場面を作ってほしかった気がします。また、店員／柏井（野間口徹）、店員／藤本（ピエール瀧）の気持ちに変化していく演技が光っていたと思いました。

というのも理解できます。早いものでもう12月・・・毎年12月12日に、今年の漢字が発表されますね。この作品の国岡鐵造という人を見ても様々な漢字が思い浮かびました。世の中はまだ石炭が主流だった20代の頃、鐵造はいつか石油の時代がくると、夢を見て商売をしてきたところ、その夢に賛同し出資してくれる人に出会います。何事にも、熱を持って当てる鐵造の元には店主の為なら命をも賭ける、熱い店員たちが集まってきます。

私的にこの作品は岡田演じる国岡鐵造の存在感が9割位を占めている印象で、群を抜いて素晴らしいです。年代に合った演技分けも完璧、店主・国岡鐵造としても役者・岡田としても強いリーダーシップを発揮しており、彼の演技を見るだけでもこの作品を見る値打ちがあるというものだと感じました。しかし反して国岡ユキ（綾瀬はるか）の使い方が雑に感じました。鐵造との生活面をもう少ししっかりと描いてほしかったですね。店員／甲賀（小林薫）、国岡商店創

少々残念に思ったのは物語を時系列に並べてくれたら、もっと良かったのにといいことでした。行きつ戻りつな部分が多いので、気持ちがつつと途切れネタバレになってしまふ部分もあり、これだけの役者を揃えているのに勿体なく思いました。しかし国岡鐵造の生涯を2時間半ほどの作品にまとめるのは、大変な作業なのだろう

色々なことに挑んでいく、時には相手を挑発する、挑。前人のなしえなかったことを初めてすること、破天荒、型破りな行動力で突破口を開く、破。という漢字も当てはまると思います。そして何よりも店員たちへの家族、愛に溢れる人物でした。そんな風に色々考えながら見るのも面白いと思います。

映画って本当にいいもんですね。

早いもので、今年も残すところわずかとなりました。

お客様から沢山のお声をいただき、走り回った一年でした。ありがとうございました。

そんな走り回る僕の足元を支えてくれるのが、丈夫な靴です。

僕は、靴にはちよとしたこだわりがあります。

それはデザインや履き心地ではなく、『匂い』です。

職業柄、重い物を持つことが多く（白物家電など）足の上に落とす様な事を想定して安全靴は必須アイテム。

しかし、安全靴なので、つま先にガードが入っていて通気性が悪く、夏場なんてムレムレです。3日も履き続けると、匂いがプーンとして超くさくさい。

お客様のお家にながらせていただくので、とてもこの匂いには耐えられません。

何とかせねばと匂いの元を調べると、汗から発生する菌が原因とのこと。



そこで、汗をかきにくくする為、五本指のソックスに履き替えてみると、少しは改善したけど、靴を洗ってから匂いがするまでの日が2〜3日延びただけ。

それじゃあと、靴をもう1足買って毎日履き替えてみることに。

しかし、臭くなる靴がもう1足増えただけ…

靴の匂いの元を絶つためには、中2日休ませないといけないみたいです。

中2日となると、毎日履き替えれば4足いることになりました。

28センチの安全靴が玄関に4足も…狭い玄関がえらいことになってしまいます。

そこでいろいろ調べつくした結果、靴の匂い対策で画期的なアイテムを発見しました。それがこちら！



オゾン脱臭付き乾燥で、靴の中は無菌状態。

これで玄関からしていた靴の嫌々な匂いがまったくし

なくなりました。足の匂いや靴の匂いでお悩みの方は必見です。

今回は靴にちなんだこんなお話をお送りしたいと思います。

『靴磨きが生んだ家族の絆』出張靴磨き屋の池田和弘です。

突然ですが、みなさんは自分以外の誰かの靴を磨いたことはありますか？

その経験がないとしたら、ぜひ一度磨いてみることをおすすめします。



【靴磨きで「思い」を伝える】

私は普段の靴磨きの仕事と別に、靴磨きを学ぶことのできるワークショップを開催しています。

どんな方が参加するかというと、ほとんどは大人の男性です。

仕事の靴が汚れているとやる気も出ないですし、男性の靴磨き

への関心はやはり高いみたいです。ね。

そんな中、毎年一度だけ参加者の顔ぶれが様変わりする回があります。

父の日に開催される『お父さんの靴を磨こう』というイベントです。

いつも仕事をがんばっているお父さんの靴を磨いて感謝を伝えよう、というもの。

その日だけは女性と子どもの参加者のみとなります。

家から靴をこっそり持ち出してピカピカに磨いたら、メッセージカードと一緒に元の場所に返します。

いつものくたびれた靴が、誰かの手によって丁寧に磨かれている。

それは働く男性にとって思いもよらないプレゼントの様なものです。

【お父さんに感謝の「靴磨き」】とある家族のお話です。『お父さんの靴を磨こう』に若いお母さんとの歳の男の子が参加してく

れました。
靴をピカピカにして、お父さん
をびっくりさせたいそうです。



家から持ってきたお父さんの靴は
ぼろぼろ。

いつもは履けなくなったら新しい
靴を買うらしく、靴磨きをして
いるところを見たことがない。

私は、この靴をきれいにするの
は中々の大仕事だなあ、大丈夫
かなと見ていました。

ワークシヨップが始まり、お母さ
んも男の子も真剣に靴を磨いて
います。

もくもくとひたすらに手を動か
しています。

その甲斐あって、靴は予想を越え
てきれいに仕上げることができ
ました。

磨き終わった2人も、とても満足
そうな表情です。

そして、最後にメッセージカード
を書いておしまいです。

「喜んでくれると良いね」と伝え
て、手を振って別れました。

【靴を磨かれたお父さんの気持ち】
後日のことです。

お母さんから私に連絡がありま
した。

わざわざ御礼の電話を掛けてい
ただいたのです。

お母さんは、きれいな靴をお父
さんが見つけた時のことを思い
出す様に話してくれました。

「磨かれた靴を見て、主人は信じ
られないといった様子で笑ってい
ました。でもそのあと息子の書

いたメッセージカードを読んで黙
りこみ、やがて泣き出してしま
いました。カードにはこう書い

てありました」

『いつもお仕事がんばってくれて
ありがとう』

「自分の汚れた靴を、手を汚して
きれいにしてくれた。仕事をガ
ンばっている姿を見ていてくれ

た。そのことがずいぶん嬉しかっ
た様です。私もなんとも言えな
い気持ちになって、その場で言葉

を尽くして感謝を伝えました」

お父さんは、お母さんと男の子
の目を見て「いつもありがとう、

これからもがんばるね」と言った
そうです。



【靴を磨いたお母さんの心境変化】
大成功の報告を受けて、私も跳
び上がるほど嬉しかったです。

ですが実は、その後にお母さん
が話してくれた内容の方が私に
は印象的でした。

「靴磨きをしていたら、主人がど
れだけ仕事をごんばっているか伝
わってきました。色んな場所をた

くさん歩いたんだなあとか、靴
を触って気付いたこと、思いを巡

らせることが沢山あったんです。

主人のことが少し分かった気がし
ました」

「応援したい、主人の役に立ちた
い。磨いていたらそんな気持ち
が溢れてきて、自分の中にある

愛に気が付いたんです」

照れながら、そんなことを教え
てくれました。



手が汚れる事をかえりみず、他
者の靴を磨くという行為は、靴
を通してそのひとを思うこと。

そして自らの心を知らず知らず
整理整頓することなのです。

私はそこに靴磨きの本質を見た
様に思いました。

靴がきれいになったという結果で
はなく、靴を通して自分と相手
の繋がりを確認する。

『お父さんの靴を磨こう』という
イベントの価値は、磨くひとの

方にこそあるのかもしれない。



パナホームには都市型住宅モデル『ビュート』というシリーズがあります。万博の住宅展示場でもご覧いただくことができましたが、今回は『なんば住宅博』内にあります、5階建てのビュートの見学に行ってきました。

【1階】雑貨店をイメージした店舗
 【2階】1LDKの賃貸ルーム主に独身女性を意識したつくりになっていました。
 【3階】親世帯の住居。木や畳を多用し、おちついた空間を演出していました。

してこういう住宅になります。実際に今回の5階建ての『ビュート5』は次のような構成になっています。

【4階】子ども世帯の住居スペース。

【5階】両世帯の共通空間として広々としたリビングを配置していました。さすがに5階ともなると見晴らしも良く本当に素敵な空間だなおもいました。

なんば住宅博の近くには木津卸売市場があり、その中には編集長トシヒロが大好きな『天カシューうどん』のお店大和（やまと）があります。



今回の研修が夜中だったため、お店は閉まっていました。今度はうどんを食べにいきたいと思っ、ビュートを見学に行きたいと思っています。

芸術の秋は続きます。



摂津店 真野きよ子

先月号で銅賞をいただいた孫の作品を見に、イオンモール茨木に足を運びました。

『フンドセル』をテーマにした作品という事で、私のイメージではカラフルな作品なのかなあと勝手に思っていましたが見てびっくり！ペンで細かいところまでしっかり書いてありました。

我が孫の作品ながらよくできているなあと感じました♪



↑上が切れていっしょめんなさ



初めての記事でドキドキな友美です。

私の趣味、焼きたてのにおいが癒しでもある食パンのレシピをご紹介します。ぜひお試しください。

ホームベーカリーに初めて出会ったのが約10年前。

「ナショナルホーム自動ベーカリー」という商品名です。

初めて焼きあがった時、パン屋さんに居るような良い香りがして、自宅で焼きたてを味わえるなんて素敵すぎる！と感動をしたのを覚えています。

そして現在の我が家のホームベーカリーはSD-BM152です。

このホームベーカリーの凄いところはケーキも焼けるし、メロンパン生地の食パンも焼けるし、お餅やパスタの生地なども出来てしまう優れもの。

最初のころはお手軽に焼けるミックス粉を使ったりもしましたが、だんだんと自分好みの配分を試行錯誤してみたり、粉を変えてみたりしました。



そして行きついたレシピがこちらです。

【1.5斤用】

強力粉（ハルエゾ）・・・350g

塩・・・6g

砂糖・・・20g

バター（無塩）・・・20g

水・・・252g

ドライイースト・・・6g

【1斤用】

強力粉（ハルエゾ）・・・250g

塩・・・4g

砂糖・・・20g

バター（無塩）・・・14g

水・・・180g

ドライイースト・・・4g

ソフトコースでいつも焼いていますが、食パンコースでも、予約で仕込むのも問題なくふっくら焼きあがりました。

焼きたてもふんわりとしてとっても美味しいのですが、粗熱が取れたら袋に入れて翌日に食べると、しっとりとした触感になりとても美味しいですよ。ぜひお試しください。

強力粉ハルエゾとは？



春まき小麦を主体にした強カタイプ小麦粉です。「北海道産小麦でパンを！」という多くのパン屋さんで使われている実績があります。しっとりソフトで風味が良く、もちもちの食感が特徴です。栄養価も高いためお子様の毎朝の朝食パンの材料にもってこいですね。

長女次女新喜劇の舞台に立つ♪

摂津店
岡本 麻理



11月12日(日)に、子ども達が『市民参加型 よしもと新喜劇』に出演させていただきました♪

5年生の長女が1年生の時にも公募があり、長女・次女と申し込みしましたがその時は残念ながら落選しました。

今回再び、よしもと新喜劇が摂津市に来る！というチラシを見て、今度こそ！と出演の申し込みをしました。

そしたら…午前・午後それぞれたった10人しか選ばれない枠に、なんと長女・次女の2人が午後の部に選ばれました♪

長女は、初めての場でも堂々と話せたりしますが、次女はそういう場が苦手で引込んでしまします。次女にも1歩を踏み出せる勇氣を持って欲しいと思っていました。

当選の手紙が届いて、長女と私は大喜び!!次女は、まさか当選するとは思わず『恥ずかしいな…』と呟いてました。いよいよ11月になり、台本が送られてきました。

内容を読むと、団体旅行客の設定で、新喜劇座長で摂津市出身の『すっちー』から、名前を1人1人聞かれるという内容でした。その台本を見て次女は、『1番苦手なやつや…』とボソッと呟いてました。

新喜劇当日、開演前にリハーサルに行きました。帰ってくる時、二人とも興奮した様子で、ズッコケの練習したり、団員の皆さんと話せたりしたよう

で、緊張がほぐれてました。

さあ!いよいよ本番、新喜劇がはじまり、団体旅行客が舞台に入ってきました!!

長女は『おかでんTシャツ』を着て出演していたため、すっちーに

いじってもらい、舞台上でしっかりと『おかでん』の宣伝をしてもらっていました。次女は緊張しながらも、受け答えが出来ていて安心しました!!

長女・次女のお友達も沢山観に来てくれて、笑ってばなしのあつという間の時間が過ぎました。

今回、素敵な経験をさせていただけに、ふたりがひとまわり成長したよううれしく思いました。



『明け方の車窓から』



日の出のタイミングに静岡付近を走行していると、とてもきれいな富士山に遭遇しました。山を見るだけであんなに感動できるものとは思っていませんでした。さすが日本一の山ですね♪



Facebook

始めてました

いいね! お待ちしています♪

オカモト電化